



概要

この章の内容は、次のとおりです。

- [Active Directory を使用した LDAP および複数の認証サーバの設定, 1 ページ](#)
- [前提条件, 2 ページ](#)

Active Directory を使用した LDAP および複数の認証サーバの設定

LDAP、および Active Directory (AD) などのさまざまなリモート認証プロバイダーを使用してユーザログインをリモートで認証するよう、Cisco UCS を設定することができます。

このサンプル設定は、AD サーバを使用して Cisco UCS LDAP および複数サーバの認証を実装するための完全な（最初から最後まで）プロセスを示すことを意図しています。また、Cisco UCS Manager GUI および Cisco UCS Manager CLI で実装をテストするための手順も含まれています。

具体的には、この設定には AD サーバの以下のタスクが含まれています。

- [組織ユニットの作成とグループの追加](#)
- [admin にバインドされないユーザアカウントの作成](#)
- [ユーザの作成と Cisco UCS OU への追加](#)
- [UCS LDAP 設定用の情報の収集](#)

以下のタスクは Cisco UCS Manager で行います。

- [ローカル認証ドメインの作成](#)
- [LDAP プロバイダーの作成](#)
- [LDAP グループのルールの設定](#)
- [LDAP プロバイダー グループの作成](#)

- LDAP グループ マップの作成
- LDAP 認証ドメインの作成

前提条件

このサンプル設定を完成するには、以下のものがが必要です。

- Cisco UCS システム
- Cisco UCS Manager バージョン 1.4(1) 以降
- Microsoft Active Directory server 2003 以降
- Active Directory サーバの管理者権限
- ADSI Edit